

あなたのそばに、いつも、ずっと...



毎日の生活の中で、不安なこと、相談したいことは誰にでもあります。

特に高齢者は、そう感じているのではないのでしょうか。そんなときに、頼れる存在が「地域包括支援センター」です。きっと、あなたの良き相談相手になってくれるはずです。

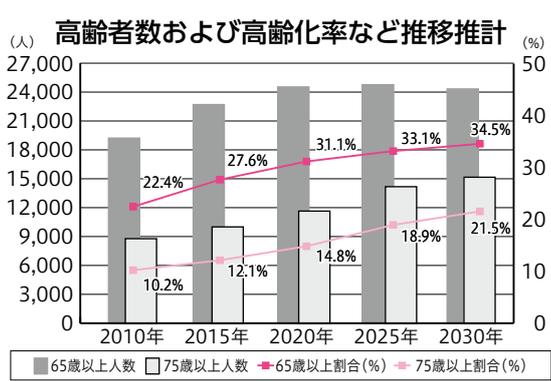
本市の高齢化の現状

高齢人口が過去最多となり、急速に高齢化が進展する日本。これは本市においても例外ではありません。

本市の全人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は、平成26年2月1日現在で25・5パーセントとなっており、4人に1人が高齢者という状況です。また、一人暮らしや高齢者のみの世帯、介護を必要とする世帯なども増加の一途を辿っているため、誰もが気軽に相談でき、安心して生活できる環境づくりが必要となっています。

国の推計では、本市の高齢化率は2025年（平成37年）に

33パーセントを超え、3人に1人が高齢者となることが予測されています。安心した生活を送るためにも、誰もが気軽に専門的な相談ができる地域包括支援センターを有効に活用しましょう。



地域包括支援センター緑風苑

主任ケアマネジャー 栗原 幸江さん



主任ケアマネジャーは、さまざまな問題を抱えた方に対し、本人の身の周りのあらゆる社会資源を調整し、必要なときに使えるよう支援しています。高齢者は健康、身体、住環境などのさまざまな問題を抱えているため、特定のサービスだけではなく、行政機関・医療機関・民生委員などの社会資源を有効に活用することが必要です。また、地域で働いているケアマネジャーの後方支援やネットワーク作り、関係機関との連絡調整も行っています。これからも地域で困っている方に寄り添って、サポートしていきたいと思ひます。

地域包括支援センター壮幸会

看護師 櫻井 朋子さん



保健師や看護師は、高齢者が介護を必要とする状態になることを予防し、自立した生活ができるように支援しています。そのためには、地域と密接な関わりを持つことが大切です。地域の高齢者学級やサロンなどに顔を出し、熱中症やインフルエンザなどの講話をしたり、一緒に体操をしたりしています。高齢者の方々と触れ合い、じかに話を聞くことで、それぞれの地域の特性や健康に対する意識などの情報を得ることができます。そして、その情報を集約し、高齢者の方々が、自分らしい生活を続けていけるよう役立てていきたいと思ひます。

地域包括支援センターふあみいゆ

社会福祉士 荒金 香織さん



虐待の疑いや消費者被害、成年後見制度についての相談が多く寄せられています。相談や通報を受けたときには、主任ケアマネジャーや看護師などと家庭を訪問し、状況を確認します。初対面の場合、悩みを相談することをためらう方も多くいます。本人やその家族が、私たちに心を閉ざしてしまうと、支援の糸が切れてしまうので、相談者の心の声に耳を傾け、信頼関係を築くことを意識しながら、高齢者の権利を守るための支援を行っています。

頼れる存在 地域包括支援センター

高齢者の皆さんが住み慣れたまちで安心して暮らせるように、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から高齢者やその家族を支えているのが「地域包括支援センター」です。現在、市内4カ所と同センターが設置されており、市から委託を受けた社会福祉法人や社会医療法人が運営しています。

高齢者が増加していることから、「悪徳商法や振り込め詐欺が心配」「財産の管理に自信がない」といった消費生活相談も数多く寄せられるようになりました。同センターでは、こうした不安や悩みを抱えている方に対しても支援を行っています。専門的な知識や豊富な経験を持った主任ケアマネジャー・保健師(地域保健の経験がある看護師)・社会福祉士を配置し、お互いに連携を図りながら「チーム」として継続的な支援を行っています。また、必要に応じて、医療機関・介護サービス事業所・民生委員などと協力し、地域のネットワークで高齢者の生活を総合的に支えているのです。



各地域包括支援センターの専門職が、支援のために情報交換を行います。

同センターに寄せられる相談内容に関する秘密は、堅く守られます。ささいな事でも構いません。困ったことや心配事がありましたら、ぜひご相談ください。

地域包括支援センターへの相談の流れ



誰でも相談できます

地域包括支援センター

相談例

- ・介護の悩みや相談
- ・各種福祉サービスの利用方法
- ・財産管理や経済的な相談
- ・認知症(物忘れ)や精神疾患などの医療相談
- ・健康維持
- ・介護保険の利用方法
- ・高齢者の心配事
- ・虐待などの相談
- ・介護予防事業

問題の解決

